

つれもて会2024年冬の番外 愛宕山の記録

2024.03.08

1. 実施日：2024年3月7日（木）
2. コース：JR 保津峡駅（8：27）→（バス）水尾荘（9：00）250m→水尾の別れ（10：35）710m→愛宕神社924m（11：40着、12：10発）→水尾の別れ（12：40）710m→水尾荘（13：50）
（メートルは高度。時間は到着時刻。水尾荘→水尾の別れ3.0キロ。水尾の別れ→1.6キロ）
3. 天候：晴れ時々曇り、数日前降雪があったが、溶けており途中の倒木や葉にうっすらと雪。愛宕神社では残った雪が若干ある程度でアイゼンの出番はありませんでした。気温は水尾の別れで1.5℃、愛宕神社でマイナス2℃。難度：技術3、体力4
4. 参加者：岡田、北村、熊谷、西本、藤田、林、小瀧（7名）
5. トピックス：京都駅から20分強での保津峡駅で下車。平日のこの時間帯は通勤・通学の人で満員状態。

86歳最年長の林さんから最年少でも間もなく後期高齢者のメンバー7名が駅を出ると、今日お世話になる水尾荘のマイクロバスがお出迎え、おかげで往復約二時間のタイム短縮。水尾荘に不要な荷物を置いて、一応軽装？で出発。すぐに登山道に入る。今回はアップダウンが一切なく、石ころだらけの急坂をひたすら登る。15分に1回程度の小休止の予定が少し短めになって休み休み歩いて少し予定より遅れて水尾の分かれの小屋で休憩。表参道から登ってくる人たちと出会う。女性の一人登山者や駆け足の人にも出くわす。別れを出発して二度三度の休憩をはさみ神社下に到着、約250段の階段を一気に上り愛宕神社へ。お参りをして「火災除けの札」などを頂戴し、階段下の休憩所で携行食程度（水尾荘でのトリスキに影響が出ないように）を取り、かいた汗が乾いて寒くなったため早めに出発。（林さんの話では神社でお神酒頂けるということでしたが今はやっていないようでした。）

下りは足取り軽く水尾の分かれまで1度の休憩だけで一気に下る。下りは行きとは逆に急な坂道で、枯れ葉で滑りやすかったり、浮いた石で毛躓きそうになったりと危ないところもあり、登りより少なめの休憩を何度か取って、慎重に下っていきました。ストックを持っていても早足にならないよう足に力が入り、明日以降の筋肉痛が予想できます。

今回の目的の一つ、水尾荘に14時前に到着、靴やステッキを洗い、柚子茶で一息。交代で柚子風呂に入り汗を流したところで、ビールで乾杯、メインの鶏すきを店のおかみに作ってもらい舌鼓を打ちました。ビールやお酒で満腹になり用意してもらったごはんにはみんな手が出ませんでした。帰りもマイクロバスで保津峡まで送ってもらって16時11分の列車で京都駅へ向かい、解散しました。

6. 余談：私事ですが、登りの休憩時谷側で休憩、出発しようとしてザックを持った時、ステッキが引っかかって斜面に転がってしまい、中途半端なところにとまり取りかねてしまいました。最終的に熊谷さんに回り込んで拾って頂きましたが、「休憩時には荷物と一緒に。山側で」との注意をいただきました。

以上（文責小瀧）



近鉄電車からの東寺の五重塔越しの愛宕山（中央奥）



山頂の愛宕神社にて（全員）